

新校舎の整備手法の変更について

現在、建替えを進めている南第一小学校の整備手法は、2022 年度に行った「民間活力導入可能性調査」の結果では、PFI 手法で事業を実施することが望ましいと評価していました。

ここで、2025 年度からの公募準備に向けて改めて事業手法を検討したところ、昨今の急激な物価高騰や建設労働力の減少といった社会情勢の変化によって、現時点においては、PFI 手法では、SPC の組成など民間事業者の参画可能性のハードルが高い状況であると判断しました。

このため、南第一小学校は、設計・建設・維持管理などを別々に契約する従来手法にて整備することとしました。

なお、着手時期を早め、2024 年度中から契約準備等を行うことで、計画どおりに進めていきます。このことから、2027 年 4 月から仮校舎へ通学、2030 年 4 月に新校舎を使用開始することについては変更ありません。

